



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通 6-28
発行人 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

3月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】世界経済
【宣教】アフリカの教会
【日本の教会】女性の尊厳の擁護

四旬節の心構え

神の望みと指示が明確に示される恵みの期間



教区司教は、必要な場合、四旬節の初めに教区民に向けて四旬節教書を公表することもあります。今年は、教書という形ではなく、四旬節を過ごす心構えを提示し、皆様と一緒に主イエス・キリストの救いの御業である復活のいのちにより豊かに与かりたいと思います。

イエスは、ある日、シモン・ペトロとその仲間、「沖にこぎ出して網を降ろし、漁をなささい」ルカ5:4とおっしゃいました。一晩中苦勞して働いたにもかかわらず、何も漁が無かった状況の中で、そのご指示は期待と希望が持てるような雰囲気ではありませんでした。しかも、それはシモンとその仲間が何度も繰り返していたことで、前晩も行った日常的な、平凡な行為でした。

日常の中にある
神の指示は…

ところが、同じ繰り返しでも、それが神からのご指示であると受け止めて、その望みに少しでも応えたいとの思いが込められる時、平凡な振る舞いが今までとは違った新しい世界へと展開されます。それが神との触れ合いの世界です。

四旬節は、神の望みと指示が明確に示される恵みの期間です。特に、この期間中の典礼の御ことは、私たちに向けられた神の慈しみとあわれみが如実に示され、大波のように神の思いが押し寄せる貴重な期間です。この恵みの時に、たとえ毎年の繰り返しであったとしても、また毎週毎日の単純で平凡な繰り返しであったとしても、その営みの中に、神からの望みと指示を明確に聞き取るように心掛けるなら、その先に、私たちが想像も出来ない大きな実りが待っているはずです。

大きな実りを
希望して過ごす

四旬節の恵みは、私たちに悔い改めと神からの赦しに導きます。シモン・ペトロはイエスの指示に従って大漁という恵みに出会うと、「主よ、わたくしから離れて下さい。わたくしは罪深い者です」と告白しています。神の恵みに出会う人は必ず謙虚になります。そして、神からの恵みが大きければ大きい程、神の前での自分の姿も良く見えてきます。しかし、それは己の弱さや不甲斐なさに失望落胆するためではなく、むしろ、「恐れるな」と呼びかけながら、その弱さや見にくささえ受け止めて下さる神のぬくもりの体験と、その慈しみの懷に抱かれることへの開眼なのです。これが赦しの本来の姿であり、まさに、四旬節は、神の限らない慈しみとあわれみ

赦しの秘跡の奉仕者

特に、今年は「司祭年」の中で四旬節を迎えますが、「赦しの秘跡」の奉仕者である司祭は、多くの人が神の限りないあわれみと慈しみに容易に与かることが出来るように、四旬節の間に特別の心遣いをして頂ければ幸いに思います。各ミサ聖祭の30分前と、金曜日か日曜日などの特別な曜日に、希望者が「赦しの秘跡」を容易に受けることが出来るような配慮をして下さるようお願いします。

あなたの助けを今、
一番必要としている
人を探してください

神との触れ合いの世界に導かれたシモン・ペトロは、イエスから「これから後、人をすなでるようになるであろう」と言われ、周囲の人々に対する新たな使命と役割を頂いています。神の恵みは、その人自身を豊かにするだけではなく、さらに周囲への愛の奉仕にも駆り立てます。神の恵みは広がるのが特徴だからです。木の上でイエスに声をかけられたザアカイも、ヤコボの井戸の傍らでイエスに話し掛けられたサマリヤの女も、イエスに出会った人は例外なく心が外向きになっています。私たちも、私の助けを今一番必要としている人を探

助祭叙階式ご案内

助祭叙階予定者：アシジのフランシスコ
谷口尚志神学生
日時：3月22日(月) 11時
場所：カテドラル大名町教会
*皆様の積極的な参加をお願い致します。
*駐車場に限りがあります。
公共の交通機関をご利用ください。

福岡教区長
ドミニコ 宮原良治司教

司教評議会
宣教科牧評議会
司祭年の終盤
などを検討

去る2月9日、今年第一回目の司教評議会が開催されました。最初の議題は、宣教科牧評議会設置の件であった。宣教科牧評議会は、司祭、修道士、信徒の代表者によって構成され、教区的な問題等を検討するため、前司教時代に設

カトリック
学校の窓

朝の登園時、子どもの泣き叫ぶ声がある。3才児のK子ちゃんが登園拒否をしている。両手はお母さんの肩にしがみつき、お母さんを抱きしめておられた。「お母さん、今日は泣いても引き取らせて頂きたいのですが、その指を少し緩めて頂けませんか。」K子ちゃんを引き取り階段の踊り場まで抱きかかえていった。ヘトヘトになった私はK子ちゃんを土足のまま立たせた。「お母さんは心配しているよ。マ

リア様も心配していらっしゃるよ。」と語りかけた。K子ちゃんは、びっくりした様な表情をみせ立ちすくんだ。自分の土足に気付く、急に靴をぬいで振り向きもせず、サッサと教室に向かった。その後登園拒否は少しずつ良くなっていった。

夏休みの少し前、降園後職員室のチャイムが鳴った。出てみるとお母さんとK子ちゃんが美しい花束を持って立っておられた。「K子が帰るなりマリア様は造ったお花より本当のお花が好きと申しますので・・・。」(門の奥のマリア様に造花が飾られていた。親子で生花を捧げて帰っていくK子ちゃんの後姿にお

置されたが、司教の急逝もあり、絶ち切れとなっていた。今回の司教評議会では、設置の是非について様々な意見が出された。前司牧評議会について、司教の諮問機関であるが、その認識が薄かったのではないかと、規約は新しいものとするか、信徒協を発展させた形として改編してはどうかなど様々な意見が出された。教区的な問題などは、司教が各委員会等の代表を招集して、意見を求めるという形をとることも可能であり、最終的には、新たな組織を作るよりも、各種委員会、信徒協、修女連など現に在る組織を利用し、司教評議会としては、宣教科牧評議会を設置しない方向となった。

司祭人事異動

次に、主日のミサを含めて、小教区における教会活動の問題についてであった。小教区は、宣教共同体であるべきだが、その前に小教区内が生き生きとしているか、人材が育っているか、信徒がそれぞれの秘跡を受けた後のケアは、など幅広い課題が提出された。これについては、6月の司祭研修会において、司祭

母さんからひとり立ちした喜びの姿があった。こうした子どもの自立には大人が孤独をこえている心の環境が要る。ゲッセマネの園のイエス様を思う。神であり、人であられたイエス様は、私達の罪の身代わりとして孤独をこえて下さった。ここに神様の愛の神秘がはたらいた。私達の先頭に立って孤独をこえて下さったイエス様に倣いたい。子ども達は、私達のことばよりも生き様をみて学ぶ存在だからである。

鳥栖カトリック幼稚園
園長 坂田久美子

3月28日着任
本渡教会 渡辺 隆義神父
(アメリカ)

門司教会 井手 公平神父
(本渡・大江・崎津教会)

4月11日着任
行橋教会 L・ベリオン神父
(サバティカル)

小倉教会 山元 眞神父
(行橋教会)

佐賀教会 平田 敬神父
(小倉教会)

湯川教会 深堀 勝人神父
(佐賀教会)

二日市教会 平田 三好神父
(湯川教会)

光丘教会 川上 惣一神父
(二日市教会)

聖マリア病院チャブレン V・ヤングキャンブ神父
(アメリカ・司牧神学)

留學 (アメリカ・司牧神学)
伊東成晃神父(門司教会)
神学院へ復学 大塚了平助祭
地区長

福岡地区 櫻井 尚明神父

佐賀地区 平田 敬神父

北九州地区 山元 眞神父

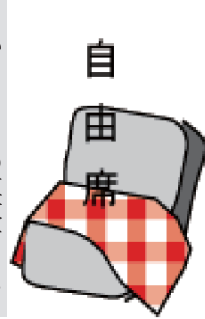
筑後地区 下町 豊重神父

熊本地区 牧山 勝美神父

※園長の辞令は3月31日交付
予定



待望の「カテキズム要約」の邦訳が出版された。読んでみると簡単ではない。「カトリック教会のカテキズム」への関心と熱意を改めて呼び起こすことを目指して「出版した、と序文にあるとおり、カテキズムをもっとよく読むために世に出された。カテキズムを凝縮しそのエキスを取り出したという感がある。だからカテキズムとともに読むことをお勧めしたい▼さて、そのカテキズムの第4編「祈り」の項の冒頭にこんな定義に出会った。水を汲みに来たサマリヤの女にイエスご自身が渴きを覚えられ、彼女に会いに来られる。「祈りとは、私たちが気づこうと気づくまいと、神の渴きと、わたしたちの渴きの出会いである。神は、私たちがご自身を渴望することに渴いておられます」何と美しい定義だろうか▼四旬節に入り、キリストの死と復活を準備する時を過ごしている私たちは、この神の渴きに呼応して、私たちが神に渴いているだろうか。「生ける水」は私たちが渴きを覚えて飲もうとしない限り与えられない。その渴きはキリストとの出会いのきっかけである。神は私たちの渴きを癒したい、生ける水を与えたいと望んでおられる▼詩編作者は「涸れた谷に鹿が水を求めるように 神よ、わたしの魂はあなたを求める」(42)と歌った。水の豊富な日本では、川が涸れるということはあまり聞かないし、水は蛇口を開けば出るものと考えている。しかし一度渇水になると水がどれほど貴重であり、不可欠であるか悟る。同様に渇きの中、不足の中でこそ私たちは、神と出会うのである。M



目からウロコの宣教チーム

信徒と司祭の

出前宣教

須古 滯



2月13日(土)、熊本の国際交流会館で、武蔵ヶ丘カトリック教会レナト・フィリピン神父の「目からウロコのキリスト教にふれるセミナー」



司祭が挑戦する時⑪

闊達な人柄で知られる司祭がこう言っていました。「司祭は時々信者を呪わなければならない!」この発言はたぶん申命記28章(祝福と呪い)

が行われた。

この企画は、国際交流会館の「多文化共生」シリーズの2回目で、前回はイスラム教。日頃から国際交流会館を利用している外国人信徒が、このセミナーのきっかけをつくってくれたことで実現した。外に向けての宣教を常に唱えているレナト神父は、パワポイントを使い、日本文化の中にとけこんでいる言葉、表現、習慣の中に、1週間7日制、西暦など実は聖書やキリスト教に由来することが多いことなどを具体的に説明。

さらに、キリスト教

に関係深い人々や、社会の中で貢献している熊本のカトリック教系の学校、病院、施設など写真で紹介。また、奉仕の人マザー・テレサの姿、クリスマスなど、キリスト教の精神は、「隣人のため、特に困っている人、悩んでいる人のために尽くすこと」とを繰り返し伝えた。その後パネルディスカッションの形で信徒3人(寺本みさ子・平田悠貴子・須古滯)が加わり、会場からの様々な質問に

答えた。

参加者は高校生から若者、年配者20数人だったが、熱心にメモを取りながら聞いている人もいた。「無神論者の人と結婚できるのか」、「自分の宗教以外の冠婚葬祭はどうしているか」、「多神教をどのように考えるか」などの質問に、信者歴60年、40年、20年の3人の信徒が、自分の体験をまじえながら、「カトリックの諸宗教対応の手引き」、「祖先と死者についてのカトリック信者の手引き」などを参考にしながら答えた。

参加者や主催者から、「キリスト教が外に開かれ、広く平和を求めていることがわかった」、「宗教を狭い世界の中で考えてしまう傾向のある日本人にとって、普遍的なものの、平和や愛を希求し、隣人に優しくすることなど、誰にでも受け入れられるべきことと思う」などの感想があった。また、講演の最後に、パワポイントで「百聞は一見にしかず」、「ぜひおいで下さい」と、手取教会聖堂を紹介したところ、嬉しいことに早速その足で訪れた女性もいた。

一般社会の中に、司祭と信徒と一緒にキリスト教を紹介

を念頭においています。つまり、「あなたは命の道を行くのか、死の道を行くのか」と選択を迫るべき時があるということです。

もちろん、司祭は人間の苦しみに共感できる人でなければなりません。社会で生きる信徒には司祭が経験しない(できない)悩みがあるのですから、その意味での謙虚さも必要です。しかし、いつでも信者の「人間らしさ」をそのまま受け入れているのは、司祭の務めは果せません。時に、「神のことば」を引つぎ、信者に挑戦できる人であってほしい。

ベルナノスの小説『田舎司

にでかけるのは、初めてのことで。どんな人が来るのか、どんな質問がでるのだろうかという不安もあったが、主催者が熱心に興味をもってくれたことで、人数は問題ではなく、外に向けて伝えるチャンスがあったこと、講話だけでなく最後の質問まで、一人も席を立たず聞いてくれたことは、大きな喜びと感謝だった。

武蔵ヶ丘教会信徒

パパ様からの ご依頼(?)

内田 泰彦

年老いた熊本の父親から珍しくカトリック新聞が送られてきました。そこにはベネディクト16世教皇様の痛々しいお姿がありました。昨年7月18日、パパ様が転んで手首を骨折されギブスを巻いた衝撃的な写真と記事でした。

医師となつて30年近く、最近近は地域の方々の力になればとボランティアで転倒予防教室などに携わってきた私に、パパ様が声をかけてくださったと感じました。『年を重ねた信徒さんたちが、私のような怪我をしないよう、役に立

祭の日記』の主人公はそういう司祭です。彼の小教区に住む貴族の夫人は小さな男の子をなくしており、そのために神に心を閉ざしてしまいました。「御心が行なわれますように」を含む「主の祈り」がどうしてもできないのです。御心によつて息子を取り去られたからです。この家族には問題がいろいろあるのですが、主人公の若い司祭は、この夫人が神に心を閉ざしていることがその背景にあることを洞察します。そして、「あなたに『御心が行なわれますように』と祈らなければならぬ」と強く迫るのです。夫人は「あなたは非情だ」と激

しく抵抗します。しかし、ついに司祭の説得を受け入れられます。そして、数日後、長い心の葛藤から解放されたためでしょうか、夫人は急死します。家族は、「あの信仰狂の司祭が彼女を苦しめたせいだ」と激しく非難します。

御受難修道会

宗像修道院院長



らを紹介したいと思ひます。◇片足ずつ、しつかり歩くこと ◇杖を有効に使うこと ◇身の回りにあるものを使い、楽しく長く、自分の体力に応じた運動をすること ◇寝たきりにならないために、寝る前も含めて水を飲む習慣を大切にすること。特に就寝前の水については、夜中トイレに起きる回数が増える、と逆にがまんする方も多いと聞きますが、いやいや自分の足で夜中にトイレまで歩けるのは幸せなこと、水分補給が脳梗塞予防に有効なのです。

大名町教会信徒

ドイツで受けた

洗礼

安積 道也



12年前、教会音楽を勉強すべくドイツに渡ったとき、私はまだ求道中で、1999年のイースターに、ミュンヘン近郊にあるベネディクト派修道院のサンクト・オットーリエンで、洗礼を受けました。

ドイツでは、成人洗礼がまれで、おまけにアジア人ということもあり、大きな注目を浴びるなか、復活徹夜祭が夜10時に始まりました。その時、南ドイツ特有の緩やかな起伏にとんだ大自然のなかに屹然と聳え立った教会の塔を中心にした修道院全体から、一切の明かりが切られました。漆

黒の闇の中、教会の前庭で燃え盛る焚き火から復活の火が取られ、私の目の前で聖別されました。また雪の残る寒い野外から、修道士や司祭らと入場したとき、「Lumen Christi」の呼び声とともにたくく掲げられた復活のろうそくの火が、目も眩まなばかりに明るく輝いたことを忘れることが出来ません。それは、まさに闇の中に輝く命の光でありました。

いよいよ洗礼式となり、聖壇の前へと呼び出されました。教会内には、遠方よりオットーリエンの徹夜祭に参列するために駆けつけた800人以上ものドイツ人が見守る中その会衆と神様のみ前で、信仰告白を一語一語大きく声に出してドイツ語で読み上げたのです。そのとき、自らが発する言葉の内実が、響きとともに、自分のあり方を新たに規定していくような、不思議な体験をしました。また、その場には、神父を除きまだ私を知る人は誰もいませんでしたので、人が世に産まれ落ちる時とは、このようなものであるのか、と感じたことも覚えています。

それから10年余を経てドイツでの教会音楽家の活動に区切りをつけ帰国しました。

不思議な神様の導きで、目下、西南学院の音楽主事をしていきます。あの時、異国の地で、Ich glaube an Gott(私は、神を信じます)と宣言をした事実は、時と場所を越え、常に現在の私を問うてきます。楔のように打ち込まれたこの事実が、苦しみながらもありますが、復活祭が近づくと、常に受洗時の経験が鮮明に蘇り、まさにこれが恵であつたと、感謝から生まれる賛美で満たされるのです。

西新教会信徒

ちょっと 一息



検定に落ちたわたしの電子辞書
キビダンゴぐらいで人材集まらぬ

坂牧春妙
深堀正平

神の前で生と死を考える集い

◆参加者を募集中

- ① 3月13日(土) 16時から 14日(日) 15時 (指導：来住神父)
- ② 6月5日(土) 16時から 6日(日) 15時 (指導：Sr.高木慶子)
- ③ 12月11日(土) 16時から 12日(日) 15時 (指導：来住神父)

*信徒を対象に「生と死」を『経験』と『カトリックの教え』の両方から考える研修会です。

カトリック福岡黙想の家

カトリック御受難修道会・宗像修道院

811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385

http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm



ミサ用ワイン



ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号

電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

第18回 NWM in ふうおか速報！



近頃の若いモンは
—青年による青年事情通信—

日本カトリック神学院福岡キャンパスをお借りし、く耳をすませば：召命と感謝をテーマに、2月20・21日の2日間、北は北海道、南は鹿児島から152人の青年が福岡に集い、分ち合い、歌い、一緒にミサを捧げました。支援とご理解、お祈りをあがとうございました。

第18回ネットワークミーティングin福岡実行委員会(会長：豊島均)を中心に、福岡教区の青年たちが割ける時間をさいて、持てるタレントを惜しまずに出して全国の青年を迎えられたことはテーマそのものでした。

今回は、2010年10月9日・10日、北海道です。

美野島司牧センターの15周年の記念式典



美野島司牧センターの15周年の記念式典が2月7日(日)に行われました。約120～130人位の様々な方々のご来場をえて盛大に開催することができました。

宮原司教様のご参加を頂き、神様への感謝のミサ、その後、ボランティアさん手づくりのご馳走を囲んで懇談会が開かれました。また、当センターに集う、7つの社会福祉団体がパネルを展示して活動発表をしました。

司教様より「20周年、30周年と続いて行くように…」と温かな励ましのお言葉を頂きました。そして当センターは、神様の愛の協力者となって日本の社会の中で、立場の弱い人たちの一人ひとりが大切にされる教会、社会を作っていくように祈りを求め、それを確実に実行していきたいと思ひます。

美野島司牧センター長 K. マルセル神父

社会、教会、文化における現実の歴史を生きた聖フランシスコの姿を伝えていきます。

サンパウロ発行
税込定価 2730円

*サンパウロは四旬節中、午前11時から午後3時までの営業と致します。

福岡教区だけでなく、日本のすべての教区、特に教区司教は、大なり小なり司祭不足を感じている。通常、「司祭が足りない」という危機感は、司祭の病気や高齢化によって、司祭の数と小教区など司祭の派遣先の数が合わなくなる時に、まず司教によって実感され、司祭や信徒に伝播されていく。司祭が複数の小教区を兼務するようになり、神学生の数も多くなるとすれば、司祭たちは自分たちの多忙さのゆえに、また、信徒たちは司祭のいない自分たちの教会や信仰生活を心配し、まさに「司祭不足」を実感する。「どうすれば司祭召命が増えるか」の議論は、家庭での信仰教育、教会学校、青少年司牧司祭の生活や質の問題、司祭間の協力のあり方、司祭と信徒との協力体制、教会組織

と、その「非難のほこさき」は、しばしば、神学院に向けられる。司祭の養成は、教会の最も重大な使命のひとつであり、神学院はその初期段階の養成の重要な場だからである。司祭は、量か質か。もちろん量も必要なのであるが、どちらかと迫られれば、答えは当然、質の方である。仮に量のみを追求めると、質が低下し、結果的に量も減少することになる。しかし、ある程度の量がないと結果的に全体的質も低下するのは避けられないのもまた事実である。自ら司祭として、また神学院の養成者として感じていることは、司祭は自分が完全でなく、弱い者であることとを十分承知しつつ、それでも主が呼ばれていることを信じて先に進むことができる。多くの人間の弱さや限界を持ちつつも、神ご自身が司祭として召し出されるのである。完璧な司祭や神学生などひとりもない。信徒たちも実はそれをよくわかつている。司祭召命の実情は、その教会の属する社会的影響を受けているし、その社会で生きる教会の活動の量と質に密接につながっている。

いずれにせよ、すべての召命は神さまからのもの。みんながそれぞれ自分に与えられた命や信仰を、堅実にまた謙虚に生きたこと。そういう根源的な信仰の再確認は、意外と重要な気がしている。

日本カトリック神学院院長

教区カトリック私立幼稚園連盟が総会を開催

2月16日(火)、司教館にて福岡教区カトリック私立幼稚園連盟(会長：森山信三神父・西新カトリック幼稚園)の総会が開催された。

教区内には、カトリックの精神に基づいて幼児教育をする幼稚園、保育園が56園ほどあるが、その中から35園の園長が出席して2009年度の総会が開催された。その中でまず任期満了に伴う会長以下三役の改選が行われた。投票前には、聖職者ばかりではなく、修道者や信徒の先生方ももつと積極的に連盟の責任を負う要職に就いてほしいなどといった意見が出された。

選挙の結果、会長：青木悟神父(カトリックさくら園)、副会長：綿貫真理氏(大濠聖母幼稚園)・寺浜亮司神父(田川カトリック幼稚園)、会計：深堀勝人神父(佐賀カトリック幼稚園)、書記：松永みか(聖心ウルスラ幼稚園)が新役員に選任された。

続いて、決算報告の後、2011年7月に開催される「日本カトリック幼稚園連盟教職員研修福岡大会」の準備状況の報告がなされた。

この大会は、全国のカトリック私立幼稚園教職員を対象として、各教区持ち回りで毎年開催されている。2011年は福岡大会となり、7月26日から27日に開催されることになっている。1300人から1500人規模の研修大会となるが、今回は福岡地区を中心としてその準備が始まっている。

テーマも、現代の幼児教育を取り巻く厳しい環境をかんがみ、内定している講師などもあるが、今後は多方面からの綿密な準備が求められる。今回は5月18日に開催される予定である。



「早朝祈りの集い」

と題する祈りの集いが行われた。

「祈りの集い」は、地元の信徒約40人が集い、島崎教会主任司祭ダニエル・マルケット神父の司式で行われた。

まず、司祭は、「皆さん、福者小笠原玄也一家の人たちは、どんな心境でこの寒い殉教の朝を迎えになられたのでしょうか…」と呼びかけた。

未だ、明けやらぬ早朝の静けさの中で、皆、心をひとつにし、この招きの言葉に耳を傾け、374年前のこの殉教の日に思いを馳せた。また、夜明けを告げるかのように、「一粒の麦は、地に落ちて死

ななければ一粒のままである。だが、死ねば多くの実を結ぶ。」(ヨハネ12:24-25)と朗読された。

その後、殉教者の墓前でそれぞれ参列者は自分の祈りを捧げ、取次を願った。

「カリブ海のハイチでは、今回、大地震に見舞われて、数万人の人が亡くなられたと聞いています。私は、被災者の人たちの良き隣人でありたいと思います。今、ハイチで苦しんでいる多くの人たちに、一刻も早く、世界の各地から、援助の手が差し延べられるよう、地元の殉教者の取次を願ひ、神に祈りました。」という信徒もいた。



☆巡礼の歌
アンサンブル・エクレジヤ
波多野 睦美 歌



つのだたかし「リユート」
他、中世から続く聖地巡礼の記憶、巡礼者たちの歌は時代を超えてサンチャゴ・デ・コンポステラへと向かう……
中世よりヨーロッパ各地の民衆の中で歌い継がれてきた聖なる音楽を瑞々しい歌と古楽器の美しい響きで伝えていく。

女子パウロ 発行
税込定価 3150円

◇ ◇ ◇
☆聖フランシスコとその時代
ベラルド・ロッシ 著
小平 正寿 訳
マリオ・カンドウツチ監修

不動産全般・売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株) ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**
ヨゼフ 森山 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時～PM 5時40分
日・祝日/AM 11時～PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

司祭召命の育成！

カトリック教会のカテキズム

日時：2010年3月28日（日）15：00
場所：カテドラル大名町教会
講師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
資料：カトリック教会のカテキズム

2010 年福岡地区聖書講座

テーマ：聖書とわたし ～生活の中でみことばを活かす
日時：2010年3月14日（日）14：00～16：00
場所：カテドラル大名町教会
講師：古川健一神父（古賀教会）
参加費：500円 旧新約聖書をご持参下さい。
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

司祭年に3人の神父様方と行く、イタリア巡礼

日程：2010年6月4日（金）～6月13日（日）
同行司祭：S. リチャード神父（浄水通教会主任）
山頭原太郎神父（司祭の家）
大山繁神父（長崎教区青砂ガ浦教会主任）
訪問地：ミラノ、ベニス、フィレンツェ、アッシジ、ローマ
旅行費用：450,000円前後（参加人数で変動）
取扱旅行会社：及川事務所
☎03-5789-8865 Fax03-5789-8867
Eメール：moikawa@roxy-int.com

福岡教区広報室アドレス
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

2010年

案内板

会合と催し

3月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 3月

◇13日(土)～14日(日) 神の前で生と死を考える集い
◇20日(土) 福岡チェナクルム
◇21日(日) 物づくりワグショップ (エル・グレイ)
◇22日(月) 福岡キリスト教会研修会
◇22日(月)～26日(金) オプレート会会議
2010年四旬節日帰り黙想会
① 3月18日(木) 10:00～3:00 受難とは「受ける」こと
② 3月25日(木) 10:00～3:00 引き渡された方。イエス
③ 3月31日(水) 10:00～3:00 主の過ぎ越し、私の過ぎ越し
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ㊟32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：教父に祈りを学ぶ
・日時：3月11日(木) 10時～14時半
・内容：聖キュプリアヌス
・指導者：フランコ神父
指導：フランコ・ソットコロノラ神父(真命山院長)
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
Sr. マリア デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100 ㊟0968・85・3186・玉名郡和水町蛸浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp
*個人またはグループでの黙想や研修会も歓迎。(要予約)

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：3月20日、4月3日 第1・第3土曜日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

6日(土) 福岡地区カトリック青年会黙想会(湯布院～7日)
7日(日) 四旬節第3主日
†ミカエル平田寛〔2002年門司教会〕
8日(月) 顧問会(司教館14：30)
9日(火) 日カ連理事会(広島～11日)
13日(土) 長崎純心聖母会終身誓願者10周年の集い
14日(日) 四旬節第4主日
17日(水) 長崎の信徒発見記念日(1866年)
18日(木) 久留米信愛短期大学卒業式
19日(金) 聖ヨゼフ
21日(日) 四旬節第5主日 春分の日
老司教会主任司祭就任式
助祭叙階式(カテドラル大名町教会11時)
伊万里女子トラピスト修道会終身誓願式
受難の主日(枝の主日)／世界青年の日
本渡教会主任司祭就任式
聖香油ミサ(カテドラル大名町教会15時)
†V. チェリッザ〔2005年唐津教会〕
31日(水) 教区宗教法人立の幼稚園新任教職員辞令交付式ならびに
研修会(カテドラル大名町教会11時)

4月
1日(木) 聖木曜日(主の晩餐の夕べのミサ・カテドラル19時)
2日(金) 聖金曜日(主の受難・大斎・小斎)
3日(土) 聖土曜日(復活徹夜祭・カテドラル19時)
†A. アレグリーニ〔2005年ロザリオの園〕
4日(日) 復活の主日
*ゴチックは、司教日程
*司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

福岡

虹の会

(日時) 3月13日(土) 13時30分
分(場所) カトリック大名町教会3階(内容) 子どもを亡くした悲嘆の分かち合い
(参加費) 700円(問合せ) 090・1162・639
5 柴田須磨子
福岡ホスピスの会勉強会
(日時) 3月14日(日) 14時から
(場所) カトリック大名町教会(内容) 患者と家族のスピリチュアル(講師) Sr. 泉キリ江(みこころホスピス部長)
(参加費) 会員500円／一般1000円(連絡先) 092・874・6321

召命を共に祈る会

(日時) 3月18日(木) 14時30分
(場所) 召命の家(指導) 浦川務神父(教区召命担当)
青年黙想会
(日時) 3月21日(日) 20時から
22日(月) 16時まで(場所) カノッサ修道女会大牟田修道院(対象) カトリック青年と求道者(同伴) 大田(参加費) 1500円(問合せ先) 0944・58・5793

在セフランスシコ会集

(日時) 3月21日(日) 14時から
(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集会所(内容) アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習(指導) 戸村悦夫神父(問合せ先) 092・843・5831岩崎
グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時) 3月23日(火) 11時から
(場所) 聖クララ寮(南区塩原)(内容) 復活の続唱他(問合せ先) 096・380・5686堺敬子

美野島司牧センター

ホームレス支援のための毎週火曜日10時半から炊き出し等への協力をお願いします。
(問合せ先) 092・431・1419 M・コース神父

北九州

小倉祈りの集い

(日時) 3月26日(金) 13時半から
15時(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難修道会(内容) 『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り(連絡先) 090・3985・5209松田裕子

北九州召命を共に祈る会

(日時) 3月25日(木) 14時から
17時(場所) カトリック小倉教会聖堂(内容) ごミサ、ミレーティング(司式・指導) 伊東成晃神父(司教会主任)(問合せ先) 093・963・2359江口

佐賀

佐賀祈りの集い

(日時) 3月6日(土) 10時半
12時(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(次回) 4月24日(土)(問合せ先) 0952・30・8347吉武

熊本

カトリック看護協会福岡支部の集まり

(日時) 3月14日(日) 14時半(場所) イエズスの聖心病院(問合せ先) 096・352・7181 Sr 竹内

熊本地区召命を共に祈る会

(日時) 3月18日(木) 11時場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 096・368・2825青木悟神父

五島に 行こう！

日時：5月2日(日) 11：00～4日(火) 18：30
対象：カトリック青年・求道者
集合・解散地：長崎港
参加費：38,000円(旅費・宿泊費)
申込先：カノッサ会 Sr. 大田
(0944-58-5793 / sis.ak@hotmail.co.jp)
*定員になり次第締切ります。

編集後記

オリンピックの日本勢の活躍はすばらしかったですね。どの選手もその数秒、数10秒のために4年、8年、また10年以上の長きにわたって血を吐くような練習を重ねてきたのでしょ。だからメダルの数こそ多くはなかったかもしれませんが、選手の顔、姿が本心に美しいと思いました。▼先月号の4面「平和をとに考える2月11日佐賀の集い」の中で講師名が、「アレクサンダー・バイス」となっていました。また、「カテド

ラルでのゆるしの秘跡」の中、2月17日は20日の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。▼4月号から新しいコラムも始まります。どうぞお楽しみに。ところで、パウロの時代、賞を得るのは、3人ではなく1人だったようです。「あなたがたは知らないのですか。競技場で走る者は皆走るけれども、賞を受けるのは1人だけです。あなたがたも賞を得るように走りなさい」(1コリント9章24節)。四旬節、朽ちることのない冠、賞を受けるべくこの恵みの時を歩んでまいりましょう。

2011年4月より校名変更
上智福岡中学高等学校
泰星中学高等学校は2010年2月に上智大学と教育提携を結びました。

世界をめざす新しいステージへ

2010年2月に上智大学と教育提携を結んだ泰星中学高等学校は、
2011年4月より上智福岡中学高等学校に変わります。
2012年4月からの男女共学化に向けて準備をしています。

設立母体がカトリック福岡会のイエズス会である上智大学と泰星中学高等学校、
この門を二つの理念のもとで教育提携を結びました。

泰星中学高等学校

〒810-0002 福岡市中央区天神1丁目10番10号
TEL 092-718-7181
E-mail アドレス: school@taisai-j.s.ed.jp

6/26(土) 10/9(土) 11/27(土)

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

内科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院

*入院基本料(一般病棟7:1)
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

一緒に働きませんか？
＝募集＝
医師・看護師・医療技術職

天然素材の
健康住宅

大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材を
そのままディスプレイした住まいづくり

有限会社 **ナガシマ建築工房**
社長 ヨゼフ 長島哲夫
福岡市早良区飯倉8-10-17 TEL:092-871-0063
[ナガシマ建築工房 福岡] [検索]

サンパウロ福岡宣教センター
イエスの
愛を知る
本・AV… [イエスの愛を知る四旬節 特設コーナーあり]
1階 聖書・信心書・聖人伝・リリク関係・絵本・一般書等
2階 家庭祭壇・十字架・ロザリオ・ご像・ご絵・CD・DVD等
営業 = 平日・土曜日 10:00~18:00 * 四旬節の日曜日=11:00~15:00
定休日 = 日曜日・祭日 * 駐車場完備 * 地下鉄赤坂駅より徒歩3分
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 tel.092-721-2032 fax.092-739-3930